

伊藤長七の教育思想と現代

—自治・自然・自由—

東京都立小石川中等教育学校は大正8年東京府立第五中学校として設立以来、東京都立小石川高等学校、小石川中等教育学校を経て昨年2018年で百周年を迎えました。その初代校長伊藤長七について私たち寒水・伊藤長七研究会（注1）のメンバーはこれまで彼の残したたくさんの資料をもとに勉強してまいりました。

彼の類い稀な発想力と実行力、底知れぬ情熱と積極性、そしてまた学校経営の巧みさ等等、ご参加の皆様方と伊藤長七の人間的魅力と教育者としての偉大さを少しでも分かち合うことが出来れば幸いです。



お誘いあわせの上、是非ご参加を！

日時 2019年3月16日（土）13時開会 16時閉会 入場無料

会場 東洋大学白山キャンパス第8号館地下1階8B11教室

◆◆主なプログラム◆◆

■基調報告「伊藤長七の教育思想と現代・寒水会の活動経過」

春山明哲（寒水会共同代表 早稲田大学招聘研究員 諏訪清陵高校卒）

■朗読『長七さんからの手紙—我が愛する生徒諸君へ—』 伊藤ひろこ（伊藤長七の孫 劇団民藝女優）

■琵琶歌 木村岳風謹作『嗚呼伊藤長七先生』 藤下隆水（薩摩琵琶 錦心流琵琶全国一水会 常任理事）

■パネルディスカッション「伊藤長七の教育思想と現代」

・司会 古山光久（寒水会共同代表 元小石川高校教諭 元都立高校校長 小石川高校卒）

・パネリスト 青山 侑（後藤新平の会代表幹事 明治大学名誉教授 元都副知事）

栗原卯田子（成城中学校成城高等学校校長 元小石川中等教育学校校長）

森 健（信州味噌株式会社社長）

守矢早苗（神長官 守矢家第78代当主 諏訪清陵高校卒）

■校歌披露 小石川、清陵 卒業生有志



主催 第2回伊藤長七研究フォーラム実行委員会

寒水・伊藤長七研究会

紫友同窓会（東京都立小石川高校・小石川中等教育学校 同窓会）

長野県諏訪清陵高校同窓会

協力 東洋大学

長野県立歴史館

東京都立小石川中等教育学校

東京都立小石川中等教育学校 PTA

問い合わせ kansui0316@gmail.com

注1：小石川・清陵のOB有志合同の伊藤長七研究会の名称。通称 寒水会。

地下鉄白山駅 A3、本駒込駅1番出口から徒歩5分（正門：旧白山通り）

第2回 伊藤長七研究フォーラム

自由主義教育の開拓者「伊藤長七とは誰か」を知る機会を持ちませんか!!

寒水・伊藤長七、近代日本が生んだこの偉大な教育者の名を知る人は少なくなっていました。このフォーラムでは、伊藤長七の新しい伝記的史実、時代の先駆けをなす珠玉の教育論、友情と知の人間模様などの一端をご紹介します。長七のように「自由で伸びやかな」時間を、ご来場の皆様と分かち合うことができれば幸いです。

寒水・伊藤長七とは？



<伊藤長七の略歴>

明治 10(1877)年	4月13日、長野県諏訪郡四賀村(現・諏訪市)に誕生
明治 31(1898)年	長野師範卒、諏訪高等小学校訓導、小諸高等小学校訓導
明治 34(1901)年	「小諸を去る辞」
明治 38(1905)年	東京高師卒、明 39(1906)年同校附属中助教諭に
明治 45(1912)年	『現代教育観』東京朝日新聞連載。翌年、単行本として出版し教育界に注目される。
大正 8(1919)年	東京府立第五中学校初代校長就任
大正 11(1922)年	欧米視察、ハーディング米大統領に面会。少年、少女の手紙で国際交流促進
昭和 5(1930)年	4月19日、平塚市杏雲堂病院にて逝去(享年54)

伊藤長七は明治10年(1877)信州・諏訪に生まれ、長野師範で学んだ後、諏訪、小諸で教鞭を取り、東京高等師範卒業後、同校附属中学教諭となった。大正8年(1919)東京府立五中(現・都立小石川中等教育学校)の初代校長に就任、昭和5年(1930)53歳で死去した。教師・長七はそのほとぼしる情熱と類い稀な感化力によって、信州と東京で数多くの「教え子達」を育て、小山邦太郎、江上波夫、小平邦彦、池島信平等優れた人材を世に送り出した。府立五中では、<立志・開拓・創作>を掲げ、「転地修養隊」や「創作展示会」などの独創的な教育を実践し、自由で伸びやかな校風を作った。

伊藤の教育は、沢柳政太郎(成城学園)、羽仁もと

子(自由学園)などと共に、大正自由主義教育のシンボルであり、その果実でもあった。長七の交友は広くまた深い。信州を愛した長七は詩人にして歌人であり、島木赤彦、太田水穂、島崎藤村らの文学者、岩波茂雄、藤原咲平らとも交友を結んだ。後藤新平、新渡戸稲造らと、信州木崎湖や軽井沢で市民のための夏期大学の開催に尽力し、社会教育にも貢献した。欧米視察と国際教育会議出席、日本と世界の少年少女の手紙による国際交流、ハーディング米大統領との会見、ブラジルでの移民教育構想など、長七の視線と活動は世界に広がっていた。

教育者・伊藤長七の思想と実践は、現代日本の教育論と教育現場に多くの示唆を与えるだろう。

寒水会とは？

「寒水会」は、紫友同窓会(伊藤長七が初代校長を務めた東京府立五中のちの都立小石川高校、現在の小石川中等教育学校の同窓会)と、長野県諏訪清陵同窓会(旧制諏訪中学同窓を含む)の有志による伊藤長七研究グループの名称です。このふたつの学校の校歌がともに伊藤長七の作詞によるという縁によって生まれました。

今回のフォーラムでは、寒水・伊藤長七研究会が地道に調査研究を進めてきた成果の概要を公開し、「天性の教育者・伊藤長七」(小石川OBの評論家・粕谷一希氏による)の思想と実践の、現代における意義について、新しい光を当てる場を提供したいと考えています。

なお、「寒水」は伊藤長七の号です。